

I 実践

- 1 研究主題 人権を尊重しようとする心情が深まる人権教育の在り方
 ー 道徳の時間や学級活動、総合的な学習の時間を通した心豊かな生徒の育成を目指してー

(1) 主題設定の理由

日本国憲法第 11 条には、「国民はすべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与えられる。」と記されている。現代社会においては、教育や啓発などの総合的な人権施策が推進されている反面、いじめや虐待、不登校など子どもの人権問題や、障害をもつ人々に対する差別や偏見など障害者の人権問題など、課題が山積みしている。

人権に関する課題を解決していくためには、何よりも正しい知識と理解が必要だと考える。差別や偏見を生む背景には、誤った認識や誤解があることが多いからである。

そこで、学級活動や道徳の時間、総合的な学習の時間を中心とした、人権教育の在り方について研究を進めていくことにした。授業を通して人権についての課題に触れ、自らの課題として考えることで、生徒一人一人の人権に対する理解が深まると考え、この主題を設定した。

(2) 研究内容

学級活動や道徳の授業において、人権に関する知識・理解や人権を尊重とする心情を深める取り組みを行い、総合的な学習の時間や学校行事などにおいて、体験的な活動を行うようにし、人権を尊重しようとする心情をさらに深めるようにした。本校の昨年度までの反省として、体験的な活動が少なかったことがあげられる。知識を詰め込むだけの教育では、真の意味で人権の課題について理解したと言い難いからである。

2 実践内容

(1) 道徳の授業における実践

ア 障害者の人権について考える実践

「心のバリアフリー」(出典 乙武洋匡「五体不満足」)という資料を用いて授業を行った。本資料は、作者の乙武さんが自身の実体験をもとに、バリアフリーについての考えをまとめたものである。物理的なバリアフリーも大切であるが、障害をもつ人々に対する心の壁を取りのぞく、心のバリアフリーの大切さを訴えている。障害をもつ人からの訴えを通して、障害をもつ人の人権に対する問題について、考えを深めさせていくことをねらいとした。

(2) 総合的な学習の時間における実践

本校の総合的な学習の時間のテーマは「キャリア教育」である。キャリア教育に内容の中に人権教育と結びついた内容のものもいくつか実践している。各学年の発達段階や生徒の実態を考慮するとともに、3年間を見通した活動内容を決めている。

ア 地域の高齢者や独居老人とのふれあい活動<第2学年>

(ア) 目 的 地域の高齢者や独居老人とのふれあいを通して、高齢者の方をいたわろうとする心情を育てる。

(イ) 場 所 地域の高齢者や独居老人の自宅

(ウ) 方 法

- ・ 5月の宿泊学習での田植え体験
- ・ 送られてきた米を使ってのおにぎりづくり
- ・ 高齢者宅への家庭訪問

(エ) 内 容

- ・ おにぎりのプレゼント
- ・ 高齢者との会話
- ・ 肩もみ
- ・ 庭掃除などのお手伝い

イ 「車いす・アイマスク・高齢者疑似体験学習」＜第1学年＞

(ア) 目 的 車いすやアイマスク，高齢者疑似体験を通して，障害者や高齢者について理解し，思いやりの心を育てるとともに，福祉に関する職業に対する興味関心を高める。

(イ) 場 所 平沢中学校体育館

(ウ) 日程及び内容

13：30～13：45 講師の方の紹介 講師の先生のお話

13：45～15：00 車いす体験・アイマスク体験・高齢者疑似体験（グループごとの体験）

(エ) 活動の様子



(3) 学校行事における実践

ア 心ゆたかな体験学習におけるお年寄りとのふれあい活動＜第1学年＞

(ア) 目 的 仲町学区の高齢者とのふれあいを通して，高齢者をいたわろうとする心情を育てる。

(イ) 場 所 仲町交流センター

(ウ) 内 容

- ・（講師を招いてのうどんづくり）
- ・交流昼食会（うどん昼食）
- ・グループによるレクリエーション
- ・肩もみ
- ・歌の発表

(エ) 活動の様子



3 成果

- ・生徒たちは，意欲的に車いす体験やアイマスク体験などを行っていた。そして，高齢者の方や障害のある方たちが不自由な思いをして生活していることを実感することができた。言葉だけでなく，体験を通すことにより，より実感を深めることができ，人権尊重の精神を高めることができた。
- ・心ゆたかな体験学習における地域のお年寄りとのふれあい活動では，うどん会食やレクリエーションなどをして，お年寄りと交流を深めることができ，涙ぐむお年寄りの姿も見られた。

II 今後の課題

本校は小規模校であり，体験的な活動を実施しやすいという特徴がある。この特色を生かすために，人権尊重の精神を高めることができるような体験的な活動の洗い出しを行い，総合的な学習の時間等で積極的に，かつ計画的に実施していきたい。